

面白い本も面白くない本もある

附属図書館副館長 伊藤 博之(経済学部教授)

私が研究者になった動機の最大のものが「読書が好き」ということです。それでも自分の専門分野の本で「面白くない」と感じる本はたくさんあります。若いときは我慢してそんな本でも最後まで読むようにしていましたが、最近では1時間ほど読んで面白くなければ、積極的に読むのをやめることにしています。そんな本でも、数年後にまた手に取ると、面白く読めることもあります。省みると、自分の考え方に影響を与えたのは、当たり前かもしれませんが、「面白い」と感じた本です。「面白い本も面白くない本もある」のですから、様々なジャンルの本の「読み捨て」も可能な図書館を、皆さんの書庫として気軽に利用してください。



分館2階閲覧席



分館ブラウジングコーナー



附属図書館には、
インターネットに接続して
情報を探し出せる
ブラウジングコーナーが
あります。